

I. Agent/Studio

1. Agent/Studio

No	Studio/Agent	Change
1	Studio	CreateFolder/Rename/New/NewFromTemplateのファイル/フォルダ名に濁音文字が含まれていたのを修正。
2	Studio	エクスプレッションエディターが提案リストからアイテムをクリックすることをサポートしていなかったのを修正しました。
3	Studio	フォーカスを失ったときにスタジオが提案ウィンドウを閉じないように修正しました。
4	Studio	プロジェクトエクスプローラーで、フォルダ名に.xml, .txt, ...が含まれる場合、誤ったアイコンが表示される問題を修正しました
5	Studio	プロジェクトエクスプローラー。長すぎるフルパスでの作成または名前の変更 => エラーの表示
6	Studio	Variable¥Argument の名前を変更しても、Selector プロパティの VariablesexualArgument は変更されません。
7	Studio	スタジオ実行中のデバッグボタンの無効化
8	Studio	StartボタンとStopボタンは、ワークフロー終了時に自動でステータスを変更しません。

2. Activities

2.1. Core

2.1.1.0 -> 2.2.0.0

No	Activity Name	Change
1	MonitorEvents	RepeatForeverを空白にすると例外が発生する問題を修正
2	InsertDataTable	誤った例外を投げるアクティビティを修正
3	ExecuteQuery	アクティビティで誤った例外が発生することがありました。
4	ExecuteQuery	ExecuteQueryが実行後にパラメータを更新しない問題を修正しました。
5	ExecuteQuery	デザイナーからクエリ/パラメータを編集する際の例外を処理しました。
6	ExecuteNonQuery	Fixed Activity throwing wrong exception
7	ExecuteNonQuery	ExecuteNonQuery が実行後にパラメータを更新しない問題を修正しました。
8	HttpClientWithBodyFactory	添付ファイルが重複している場合、プレビュー要求で常にエラーメッセージが表示される問題を修正しました。
9	HttpClientWithBodyFactory	確認用のHttpウィザードで、添付ファイルのファイルパスが値ではなく名前になっていたのを修正しました。
10	HTTPClient	タスク実行前に ContinueOnError が発生しないように修正しました。
11	SelectFile	ファイルを選択できるようにしたが、選択してもエラーが表示されるように修正。
12	InvokeWofkowFile	ContiueOnError の修正。
13	InvokeWofkowFile	Timeoutファイルが最大長を超えたときにエラーメッセージとメッセージボックスの両方を表示するように修正しました。
14	Copy Directory	ContinueOnErrorが動作しない問題を修正
15	Create Directory	続行エラーが発生しないように修正しました。
16	Build DataTable	データテーブル構築ダイアログが時々おかしいエラーを起こすバグを修正
17	Generate DataTable	入力データの改行文字を処理前に正規化するように修正
18	GenerateDataTable	プレビューデータテーブルで、特殊文字を含む列名のデータ列が表示されないことがある問題を修正しました。
19	FilterDataTable	[ウィザード] "空である "または "空ではない "を選択した場合、値を空(NULL)にするように修正
20	SortDatatable	プロパティ「順序」(Enum)の変更。Decending --> Descending
21	GetAgentAsset	CacheMetaData 関数で [Output] 引数が NULL かどうかをチェックし、[Output] 引数に値を設定します。
22	GetAgentAsset	ContiueOnError の修正。
23	SetAgentAsset	ContiueOnError の修正。
24	SetAgentCredential	ContiueOnError の修正。
25	GetAgentCredential	ContiueOnError の修正。
26	GetOCRText	入力時のクラッシュソフトの修正 ファイルが有効な画像フォーマットを持っていないか、アクセス権を持っていない。
27	GetOCRText	有効なデータ入力 Target(Width, Height)が0以下の場合、エラーになる。
28	GetOCRText	グラブが画面を越えたときにメニュー（グラブ、OK、キャンセル）の位置をリセットするようにした。

29	ImageClick	ファイルが有効な画像形式でないか、アクセス権がない場合にソフトウェアがクラッシュする問題の修正
30	ImageFound	画像の解像度が画面よりも大きい画像をロードしたときに例外を表示しない => return false
31	Add Queue Item Bulk Add Queue Items Set Transaction Progress Set Transaction Status Postpone Transaction Item	- 入力プロパティ「Transaction Item」のnull参照の検証を追加します。 - Postponse >= Deadlineの検証を追加 - 新しい例外メッセージの言語リソースの追加
32	Add Queue Item Add Transaction Item Delete Queue Items Get Queue Items Get Transaction Item Postpone Transaction Item Set Transaction Status Set Transaction Progress	すべての例外を処理し,ContinueOnErrorがtrueのときはスローしない。
33	Add Queue Item Bulk Add Queue Items Postpone Transaction Item Set Transaction Status Set Transaction Progress	「ミリ秒を無視して延期時間と締め切り時間を比較する」 - Set Transaction Status/Progressアクティビティでpostponeと deadline timeを比較しない
34	Bulk Add Queue Items	TimeoutMSのデフォルト値を30000に設定
35	Bulk Add Queue Items	"continue on error "がtrueのときに例外を発生させないようにしました。 - 入力項目（期限、延期、優先度、特定のデータ）の検証を追加 - コミットタイプ「AllOrNothing」でエラー時に例外を投げる機能を追加"
36	GetQueueItems	リクエストを送信する前に参照プロパティの長さをチェックしていない
37	Get Queue Items	"・プロパティ「Status」のタイプを「QueueItemStatus」から「QueueItemStates」に変更。 - Deleted QueueItemStatus file"
38	Wait Queue Item	「修正されたアクティビティは、PollTime <= 0または > TimeoutMSの場合、TimeoutMSの2倍の時間待機します。 修正されたアクティビティでは、すべてのアイテムがInProgressに変更されますが、以下の場合はタイムアウト例外が発生します。PollTimeoutMSが小さすぎるとタイムアウト例外が発生する
39	Wait Queue Item	すべての例外を処理し,ContinueOnErrorがtrueのときはスローしない。
40	Wait Queue Item	ウェイトキューのロジックコードを修正し,アイテムが見つかったときにタイムアウト例外が発生しないようにしました。
41	Wait Queue Item	PollTimeMSが0より大きくTimeoutMSより小さいことを検証する機能の追加
42	SetTransactionStatus	リクエストを送信する前に、理由のプロパティの長さをチェックしない
43	SetTransactionStatus	リクエストを送信する前に詳細プロパティの長さをチェックしていない
44	PostponeTransactionItem	postponeを送信する前にトランザクションアイテムの状態を確認していない
45	PostponeTransactionItem	センターからのエージェント情報応答をチェックします。エージェントが存在しない場合は、 "Agent does not exist in the Center. "という例外が発生します。
46	PostponeTransactionItem	エラーメッセージの文法がおかしい

2.2. NativeBrowser
4.0.0.0 -> 4.1.0.0

No	Activity Name	Change
1	OpenBrowser	QuitBrowserOnCompletedOrFaultedがtrueの場合、初期化時に例外が発生してもブラウザを終了しません。
2	OpenBrowser	初期化時に例外が発生した場合、例外を表示しない
3	AttachBrowser	セレクタが無効な場合にTimeoutMsが正しく動作しない
4	InjectJs	注入されたjsがページ内で複数回実行されるのを修正する
5	ExtractStructuredData	ContinueOnErrorが正しく動作せず、defaunt continueonerror=falseに設定されている。
6	ExtractStructuredData	BeforeDelayがBrowserNotSetExceptionのスローで動作しない

2.3. Windows
2.1.2.0 -> 2.1.2.1

No	Activity Name	Change
1	OpenWindow	ContinueOnError = Trueのときにアクティビティが例外を発生させる問題を修正しました。

2	OpenWindow	見つかったウィンドウが隠されている場合、OpenWindowにメッセージが表示されない問題を修正しました。
3	Open Window	FileName](例：file1.txt)とそのファイルがある[WorkingDirectory]を入力すると、ファイルを開くことができるようになりました。
4	WindowScope	ContinueOnError = Trueのときにアクティビティが例外を発生させていたのを修正
5	WindowScope	ContinueOnErrorが意図した通りに動作しないのを修正しました。
6	GetActiveWindow	ContinueOnError = Trueの時にアクティビティが例外を発生させていたのを修正しました。
7	GetActiveWindow	アクティブなウィンドウを取得できなかったアクティビティを修正
8	ShowWindow	Fixed ShowWindow not working when ControlType is Window.
9	ShowWindow	From/UseWindowが入力の場合にShowWindowが動作しない問題を修正しました。
10	Move Window	ウィンドウのサイズが変更できない場合に、ウィンドウの移動を可能にし、エラーを表示しないようにしました。
11	Close window	ContinueOnError] = trueの場合、例外を投げないようにしました（セレクトタの形式が間違っていたり、正しくない場合など）。
12	All Window Activities with Sel	セレクトタ]の値が有効でないxmlである場合に、ウィンドウアクティビティがSelectorEditorを開けないように修正しました。
13	TypeInto	[TimeoutMS] = -1に設定すると、[TimeoutMS] = 30000に設定されます（ControlActivityから派生したすべてのWindowActivityに適用されます）
14	Type Into	SendMessageメソッド使用時にEnterキーが押せないというエラーを修正
15	Type Into	省略された属性をチェック/比較するセレクトタのバグを修正
16	Click	[TimeoutMS] < -1の場合、[TimeoutMS] = 30000を設定し、例外を発生させない(ControlActivityから派生したすべてのWindowアクティビティに適用)
17	SelectItem	Item Value]が要素に存在しない場合、例外をスローする。
18	SelectItem	要素（コントロール タイプ）が select をサポートしていない場合、例外をスローします。
19	SelectItem	要素が無効になっていない場合、例外をスローします。
20	All activities have [From] property: AttachProcess Check Click CloseWindow ElementExists ExpandCollapse FindControl GetProperty GetText GetVisibleText HideWindow HighLight MaximizeWindow MinimizeWindow MoveWindow RestoreWindow Scroll SelectItem SendHotKey SetFocus	From][Raw Element]がNULLのとき、例外を投げる
21	Highlight	[TimeoutMS]が値のない変数で入力されている場合 => [TimeoutMS]=30000を設定 (ControlActivityから派生したすべてのWindowアクティビティに適用)

2.4. Excel

2.1.0.3 -> 2.1.0.4

No	Activity Name	Change
1	ExcelReadCell	Single Cell as [Cell]入力時にセル形式を保持しないアクティビティを修正
2	ExcelReadRange	Single Cell as [Range]入力で範囲形式を保持しないアクティビティを修正
3	ExcelExecuteMacro	ContinueOnError が機能しない問題を修正
4	InsertImage	イメージのロード中に OutOfMemoryException をキャッチ → "not image" ファイルを選択してもスタジオはクラッシュしない
5	CopyPasteRange	プロパティ「Copy-Items」で、検証エラーメッセージを複数言語のメッセージに変更

6	CopyPasteRange	COMメッセージの代わりにフレンドリーな例外メッセージを表示する
7	ExcelSetBorder	COMメッセージではなく、フレンドリーな例外メッセージを表示する
8	ExportChart	エクスポートファイル名が存在する場合、"(1)"、"(2)"、...を追加してファイル名を変更する。
	Read Cell Read Range Write Cell Write Range Append Range Copy Paste Range Delete Range Get Workbook sheet Get Workbook sheets Select range Set range border Set color Insert rows Insert Image Export Chart Save Workbook 9 Save As Workbook	COMメッセージの代わりにフレンドリーな例外メッセージを表示する
10	Read Range	範囲の値が無効なときに例外を発生させる

2.5. Browser

2.1.2.0 -> 2.2.0.0

No	Activity Name	Change
1	OpenBrowser	初期化時に例外が発生した場合、QuitBrowserOnCompletedOrFaultedが動作しない問題を修正しました。
2	OpenBrowser	OpenBrowserでIE UnhandledPromptBehaviorの設定をauto acceptにしていたのを修正。
3	AttachBrowser	AttachBrowserがIE UnhandledPromptBehaviorを自動的に受け入れるように設定していたのを修正しました。
4	AttachBrowser	GetParrentOfProcessとMaximizeProcessにTryCatchを追加
5	AttachBrowser	初期化時に例外が発生した場合、QuitBrowserOnCompletedOrFaultedが動作しない。
6	StartBrowserForAttach	Chromeがインストールされていない場合、フレンドリーなメッセージを表示するようにしました。
7	Close Tab(B)	CloseTabまたはQuitアクティビティの実行後、ページロードの完了を待たない
8	All Browser Activities with Se	ブラウザアクティビティのセレクタのapp属性に "chrome.exe "しか表示されない問題を修正しました。
9	All Browser Activities with Se	セレクタ」の値が無効なxmlである場合、ブラウザアクティビティでSelectorEditorが開けない問題を修正しました。
10	Browser Activities	IEを使用しているときに、ブラウザアクティビティがUnhandledAlertExceptionを処理しない問題を修正しました。
11	InjectJS	スクリプトの出力]を「スクリプトの実行には'code'または'file'のプロパティが必要ですが、両方ではありません」から空文字列に変更（[スクリプトファイル]が無の場合）。
12	InjectJS	スクリプト出力]の「オブジェクト参照がオブジェクトのインスタンスに設定されていません」を空文字列に変更（[スクリプトファイル]=" "の場合）。
13	SendHotKeys	キーの組み合わせを送信できるようにする
14	SendHotKeys	キーモディファイアの "Win "はサポートされていないので削除する。
15	Check/Uncheck(B)	チェック/アンチェック・アクションの前に要素のタイプを検証する 要素がチェックボックスやラジオボタンではない場合は例外を投げる
16	Check/Uncheck(B)	要素が表示されていない（隠されている）場合のチェック/アンチェックをサポートするようになりました。
17	GetText	GetTextで隠し要素からテキストを取得できない問題を修正しました。
18	TakeScreenshot	要素の幅、高さ、位置を計算するバグを修正
19	ExtractStructuredData	ContinueOnErrorの修正
20	ExtractData	ContinueOnErrorの修正

2.6. IE

2.1.2.0 -> 2.1.2.1

No	Activity Name	Change
1	SwitchTo	同一ではないURLへの切り替えを可能にする(google.com ~ google.com#1234)

2	GetElement	ContinueOnErrorの修正
3	ElementExists	ContinueOnErrorの修正
4	ElementExists	[ContinueOnError]が修正されました（他のすべてのIEアクティビティで[ContinueOnError]が発生します）。
5	ElementExists	[FromElement] では要素が見つからない => 修正された（セレクトを持つ他のすべての IE アクティビティ）
6	ElementExists	2 番目のタブの要素を選ぶが、セレクトは常に 1 番目のタブを指す => 修正された（セレクトを持つ他のすべての IE アクティビティ）
7	CheckUncheck	ContinueOnErrorの修正
8	InjectJS, Click	ContinueOnErrorの修正
9	Hover	スクロールが2回呼び出されると、距離が2倍になる => 修正（TypeInto, Hover, Click, Check, Select, SelectMultiple）
10	TypeInto	[VirtualType] チェック：入力する前に常に要素のテキストをクリアする => 修正済み
11	All	大きな数字を入力するとスクロールが機能しない

2.7. Java2.2.2.0 -> 2.3.0.0

No	Activity Name	Change
1	Java Activities with Selector	Selector]の値が有効なxmlでない場合に、JavaアクティビティがSelectorEditorを開けない問題を修正しました。
2	Java Activities with Selector	Java Activitiesの間違った例外を修正。
3	Java Activities with Selector	セレクト]の値が有効でない場合にContinueOnErrorが機能しない問題を修正
4	GetText	テキストに1文以上が含まれている場合、アクティビティがフルテキストを取得できないのを修正しました。
5	GetText	Comboboxコントロールタイプをサポートし、Nameプロパティにデフォルト値を設定できるようになりました。
6	Click	要素が利用できなくなっても、その位置でクリックしてしまうことがある問題を修正しました。

2.8. Mail2.1.0.1 -> 2.1.0.2

No	Activity Name	Change
1	SendSMTPMailMessage	2回目以降のメール転送ができない
2	SendExchangeMail	To/Cc/Bccリストにセミコロンで区切られた電子メールアドレスが含まれている場合、メールを送信できない。
3	GetOutlookMailMessages	サブフォルダが見つからない場合は例外が発生する
4	GetOutlookMailMessages	出力されるMailMessageの送信者が常にNULLである
5	GetIMAPMessages	固定されたGetmapアクティビティが常に0メールを返す
6	GetIMAPMessages	send on haftまたはsend BCCでメールを取得できない
7	GetExchangeMailMessages	シャフト送信でメールが届かない

2.9. Word2.1.0.2 -> 2.2.0.0

No	Activity Name	Change
1	SetContentControl	値を設定する前に、コンテンツコントロールの編集許可を確認する

2.10. Python2.1.0.2 -> 2.1.0.3

No	Activity Name	Change
1	PythonScope	WorkingDirectoryが機能しないのを修正しました。

2.11. FTP2.1.0.2 -> 2.1.0.3

No	Activity Name	Change
1	WithFTPSession	enumの値からアンダースコア(_)を削除する。 - 古い既存のプロジェクトとの互換性をサポートするために、古いenumの値を新しい値に変更するコンバータを追加する。
2	Create Directory	CreateDirectoryを起動する前に,親ディレクトリと副親ディレクトリの両方にファイルが存在するかどうかをチェックする。
3	Create Directory	CreateDirectory APIを起動した後に,ディレクトリの存在を確認し,見つからない場合は例外を投げる。

4	Directory Exists File Exists	・ 2つのアクティビティ (Directory/File Exists)の日本語プロパティ Existsを新しい値に変更。 DirectoryExitsts = フォルダの有無 FileExitsts = ファイルの有無
5	Download Files	Create」 および「Include Subfolders」 プロパティのツールチップの説明を修正しました。
6	Download Files	- ローカルパス]とリモートファイル名から有効なファイルパスを構築する
7	Download Files	ファイルのダウンロード」 アクティビティの「localPathのチェック」 拡張子を削除
8	Download Files	- パスをルートディレクトリと組み合わせる際のエラーを修正 - 存在しないリモートディレクトリにファイルをアップロードする際の例外を修正 - ContinueOnErrorプロパティにローカライズされたDisplayNameとCategoryを追加 - ディレクトリとリモートルートパス(/)を組み合わせる際のエラーを修正 ・ ディレクトリの存在をチェックするロジックコードを追加。
9	Download Files	- ファイルをアップロードする前に、存在しなければ新しいディレクトリを作成する"
10	Upload Files	「ルートディレクトリとパスを組み合わせる際のエラーを修正
11	Upload Files	存在しないリモートディレクトリにファイルをアップロードする際の例外を修正しました。
12	Upload Files	ファイルを検出するために,ローカルファイルのパスの拡張子をチェックする機能を削除しました。
13	Upload Files	ローカルファイルパスの拡張子をチェックしてファイルを検出する機能を削除しました。

2.12. Gsuite

2.1.0.1 -> 2.2.0.0

No	Activity Name	Change
1	CreateFilePermission	UseDomainAdminAccessプロパティが正しく機能しない問題を修正
2	UpdateFilePermission	UseDomainAdminAccessプロパティが正しく機能しない問題を修正
3	DeleteFilePermission	UseDomainAdminAccessプロパティが正しく機能しない問題を修正
4	GetFilePermisison	UseDomainAdminAccessプロパティが正しく機能しない問題を修正